



公園へ行こう！ ～ 翠ヶ丘公園 ～

翠ヶ丘公園は、大正 12 年に妙見山を公園としたのが始まりです。須賀川城主二階堂氏の居城があった愛宕山を大正 14 年に公園に含め、昭和 34 年に五老山や保土原館、南館など周辺部も整備に着手しました。現在も整備を進めている園内は起伏に富み、市の木である赤松を主体とした自然林の中には多くの動植物が生息しています。



①太鼓橋付近の桜



②わんぱく広場の大型遊具



③せせらぎ広場のメタセコイアのライトアップ



④公園内には約 1,000 本の赤松が樹勢する



⑤南館芝生広場の枝垂れ桜



⑥パークPFI事業（カフェ）



⑦せせらぎ広場の「せせらぎ水路浄化システム」
日本大学工学部のロハス工学に基づき、新池の水を機械的なエアレーションを使わず、1日当たり約 100 トンの水を浄化再生する



⑧わんぱく広場で行われた民間事業者によるイベント



⑨憩の広場では音楽イベントも行われている



⑩南館の紅葉



⑪新池



翠ヶ丘公園で野鳥を観察してみよう！ ～ 野鳥観察地域図 ～

翠ヶ丘公園には稀少な動植物も多く生息しており、市の鳥であるカワセミをはじめ様々な野鳥を観察することができます。この図は今までに翠ヶ丘公園内で観察された野鳥の一例です。季節に応じて観察できる種類が異なるのも楽しいですね。小鳥のさえずりに耳を傾けながらウォーキングなどの健康増進も兼ねて足を運んでみてはいかがでしょうか。



チョウゲンボウ



キビタキ



ミヤマホオジロ

【留鳥^{※1}】28種

トビ、オオタカ、ノスリ、コジュケイ、キジ、キジバト、フクロウ、カワセミ、アオゲラ、アカゲラ、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ウグイス、カワラヒワ、スズメ、オナガ、ムクドリ、ハヤブサ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ガビチョウ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、チョウゲンボウ



トラツグミ



ヒレンジャク



オオルリ

【旅鳥^{※2}】2種

アオバト、エゾビタキ

【漂鳥^{※3}】20種

ツミ、ヒバリ、キセキレイ、ビンズイ、カヤクグリ、ルリビタキ、トラツグミ、クイタダキ、エナガ、ヒガラ、ヤマガラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、クロジ、ベニマシコ、イカル、ニューナイスズメ、カケス、シジュウカラ



翠ヶ丘公園は野鳥の宝庫

緑の基本計画改定委員会 委員 山本明日香さん

左図は、私が翠ヶ丘公園を歩き、直に見て確認した鳥達の観察地域図です。

公園には、市鳥のカワセミや珍しい鳥が多々おり、IUCNレッドリスト絶滅危惧種Ⅱ類のカシラダカや、ふくしまレッドリスト(準絶滅危惧種)のトラツグミも見ることができます。

野鳥の生態観察も可能。ヒヨドリの子育てや、スズメが羽化直後のセミをどう捕食するかなど、日々公園を歩いていると、素晴らしい生態を見ることができました。

このほか、公園内には、貴重な草花も生息しています。植生し保護地域は札でお知らせしています。自然溢れる公園は市の宝。公園内の生きもの達を観察・保護して大切にしていきたいです。

※IUCN:国際自然保護連盟

【夏鳥】12種

ホトトギス、カッコウ、ツバメ、サンショウクイ、アカハラ、メボソムシクイ、エゾムシクイ、センダイムシクイ、キビタキ、オオルリ、コサメビタキ、オオヨシキリ



カワセミ



ノスリ



ベニヒト



オシドリ

- ※1 留鳥 (りゅうちょう) 年間を通して同じ場所に生息し、季節による移動をしない鳥
- ※2 旅鳥 繁殖も越冬もせず、その地点を通過する鳥
- ※3 漂鳥 (ひょうちょう) 渡り鳥に比べて、小規模の季節の移動をする鳥

公園遊びのマナーとルール

- ・公園施設を汚したり壊したりしない。
- ・木や花を傷つけたり取ったりしない。
- ・動物(鳥や魚)を捕まえたり傷つけたりしない。
- ・地面を掘ったり形を変えたりしない。
- ・立ち入り禁止の場所には入らない。
- ・公園の用途以外に使用しない。等

監修・写真:「野鳥愛好家」関根敬次さん